



大樹のこころ

就学時検診・入学説明会

今日は就学時健康診断と入学説明会があり、来年度入学予定の園児が本校にやって来ました。日頃は1年生を見て「可愛い」と思ってしまいますが、就学前の子供たちは1年生より小さく、本能的に可愛さを感じてしまいます。

就学時健康診断と入学説明会は同時進行で行われました。親子で体育館に入場した後、園児たちは本校の教員に引率されて、各検診会場へと移動していきます。検診内容は内科・眼科・耳鼻科・歯科があり、これらは学校医による検診が実施されます。その他に視力検査・聴力検査・知能検査も行われ、これらの検査は教員が担当していきます。園児は広くて大きな学校施設に戸惑いを見せますが、みんなお利口に検査を受けてくれます。先生方も、小学生より幼い子を相手にしているので、いつも以上に丁寧です。男性の先生が四苦八苦しながら園児をあやしている姿を見ると微笑ましいです。

保護者は体育館に残って入学説明会となります。まず最初に「子育て講座」として岡崎市教育アドバイザーの三浦敦子先生から「子育ては親育ち」と題し、講演会が行われました。就学前の子供たちへの「子育てのアドバイス」をたくさん聞かせていただきました。保護者という立場だけでなく、教育現場で働く私たち教師にも大きなヒントとなる内容ばかりで、たいへん参考になりました。中でも演題の「子育ては親育ち」の説明に感銘を受けました。

子育ては親育ち

子育てをすることで子供は育つ。

同時に親は子供に、親として人として成長させてもらう。

つまり、親にさせてもらう。それが親育ち。

親という言葉を「教師」と置き換えて、私たち教員も子供たちとの向き合い方を考えていきたいと思いました。

入学説明会の最後に、本校の代表委員会が作成した映像資料「大樹寺っ子の1年」を放映しました。代表委員の子供たちが、本校の様子を面白おかしく紹介していきます。とても素晴らしい出来栄で、自分も保護者の皆様と一緒に楽しんでしまいました。高学年になると子供はここまで成長するということをご理解いただけたと思います。

先にも述べましたが、検診を受けている園児たちは、とても落ち着いていて「立派な1年生になりそうだ」と感じました。来年の春が待ち遠しいです。

